

## 32. みんなのご飯食堂

記録：水谷直人

場 所：愛西市北河田町郷西 343-1  
対 象：子ども、大人  
参 加 費：学生まで 300 円、大人 500 円  
代 表 者：中島美知子  
開 催 日：毎月第 2 火曜日 18：30～

参加日時：2月14日（水） 18：30～

献 立：どて煮、小カブのたまごとじ、おすましじる、白米、牛乳もち  
参 加 者：水谷直人

### ◎NPO 法人れんこん村のわくわくネットワーク

経済的貧困、子どもの食生活の乱れ、親が子どもと食事を一緒に食べることができなかつたりして、子どもとかかわる時間が極めて少なくなる時間的貧困などの現状を背景に津島市ファミリー・サポート・センターから事業を受託。現在は愛西市、稲沢市のファミリー・サポート・センターも一緒に運営している。1997年に子どもたちのために自然環境を守る活動をする環境保全任意団体として発足し、環境調査やゴミ減量活動に取り組んできた。2005年からは、これまでの活動を見直し、法人格を取得して「子どもたちのために3つの環境、（社会、体内（健康）自然環境）を守る」を合言葉に活動している。

### ◎きっかけ

NPO 法人れんこん村のわくわくネットワークの活動の1つとして、親御さんが子どもと一緒に参加して楽しく会話をする場所作り、子ども一人でも来ることのできるような気軽な食堂作りを目的とし、幅広い年齢層の参加を考え「みんなのご飯食堂」を開催した。また、毎週火曜日の10時から、お年寄りの方が集まって会話しながらお茶を楽しむ「れんこんカフェ」も開催している。「みんなのご飯食堂」の運営の形が定まったのは2016年4月ごろ。

### ◎ボランティア

ご飯やお菓子をつくるのは、NPO 法人の方とファミリー・サポート・センターの提供会員（450人程度）の中から2名程度にお願いをしている。少人数で料理を行うのは食中毒になるリスクを考えてのこと。食事面以外のボランティアには消防士の方もいて、食堂内の壁にボルダリングができるような場所をつくり、そこで子どもたちに上り方などを教え、子どもたちと交流をしている。

### ◎食材

食堂で使用する食材の多くは、農家の畑を借りて育てた野菜であるか、それとも、寄付でもらったものである。それ以外の食材は、参加費で賄っている。

◎想い

今、問題となっている経済的貧困を解消することだけでなく、家族と過ごす時間が少なくなってしまう時間的貧困での子どもたちが抱える問題の解決に重きを置いている。食堂に来ている子どもたちと家族のような何でも言える関係を築かないとこの活動をしている意味がない。子どもたちの心のケアをまずは食のケアから始めて、よりよい大人に育てほしいと思っている。

◎写真

